

宿泊施設における外国人旅行者受入れへの取組 7つのポイント

1. Wi-Fiの整備とトイレの洋式化は必須です

外国人旅行者にとってWi-Fiと洋式トイレは必要最低限の環境です。施設内全てに整備することを目標に計画的に設備投資を行ってください。

2. 外国人目線でアピールを

日本人と外国人では興味のツボが大きく異なります。日本人とは違うことに関心があるかもしれないので、地域在住の外国人に聞き取りしてみると、新しいアピールポイントのヒントになります。

3. 現金ではなくキャッシュレス決済が主流です

クレジットカードを基本として、バーコード決済などにも対応すると、より利便性が高まります。

4. ホームページはニーズにあわせて

ホームページはただ日本語を外国語に翻訳するだけでは不十分です。ターゲットとなる国を絞り、空港からのアクセスや周辺観光情報など、外国人旅行者が求める詳細な情報も掲載しましょう。

5. 外国語対応は手近なところから

市販されている簡単な外国語パターン用語集も十分活用できますし、今あるスマートフォンやタブレット端末に翻訳アプリをダウンロードするだけでも、大きな効果が期待できます。

6. 施設のユニバーサルデザイン化

日本だけでなく海外でも高齢化が進んでいます。バリアフリー化やユニバーサルデザイン化は、高齢者や障害のある旅行者はもちろん、従業員にとっても使いやすく人にやさしい施設となります。

7. 地域一丸となった取組を

DMOや地方自治体、観光協会、近隣の宿泊施設、飲食店、物販店、観光施設、金融機関などと幅広く連携することが重要です。まず、近隣で活動しているDMOに相談をしてみましょう。